



アクトネン

NO. 104

名古屋市演劇練習館機関紙

エッセイ

「ドトウの6年」

関戸 哲也 (空宙空地)



空宙空地
「ハシラクグル」
'15年9月27日、28日
七ツ寺共同スタジオにて



空宙空地
「ふたり、目玉焼き、その他のささいな日常」
'17年7月14日、15日
生活支援型文化施設コンカリーニョにて

空宙空地(クウチュウクウチ)と言う団体に所属しています。代表おぐりまさこと二人ユニットです。空宙空地が旗揚げして6年。この6年を一言で言うと正に怒涛。全力で駆け抜けた6年で、しかも年を追うごとに活動に加速度がついて他地域へも広がっております。僕らが他地域で活動するようになったのは、大阪で開催されてる最強の一人芝居フェスティバル「INDEPENDENT」に参加したことが大きなキッカケでした。最初は「ライト」って作品で札幌と福岡に、次は「如水」という作品で、札幌、仙台、長野、東京、三重、大阪、沖縄と回りました。ここで、各地を回って様々な土地の演劇人に刺激をもらったことがものすごい財産になってます。人見知りの自分じゃ信じられないくらい全国各地の演劇人の知り合いが増えました。その流れやご縁でほぼ毎年、各地で公演を、札幌でも毎年公演をうってます。もう6年目になりますね。

来年2020年も冬の札幌演劇シーズンという企画に唯一道外から参加するんですが、イナダ組も参加してます。「水曜どうでしょう」ファンお馴染みの藤村Dが主演するイナダ組。「どうでしょう」のDVD見ながら半日演じた昔の自分に教えてあげたいです。

活動期間まだ6年ってのが意外です。10年以上活動してる感覚です。ってか、ずっとアクトネンに通ってます。この6年本当にアクトネンに通い詰めて殆どの作品がここから生まれました。一週間アクトネンに行っていないと「あれ?なんか寂しいな」なんて思うアクトネンアディクト。先日、札幌の教文短編演劇祭

「ショウアワセルフ」って作品で優勝と、僕がベスト俳優賞をいただきました。これも、アクトネンのリハーサル室をお借りして稽古しました。優勝を札幌の演劇仲間がとても喜んでくれました。僕とおぐりの二人芝居。これ、空宙空地の6年間の積み重ねのような作品だと思ってます。それで優勝できたのが本当に嬉しかったです。鴻上尚史さんと松竹映画プロデューサーの石塚慶生さんにすごく作品褒めていただいて、戸田恵子さんに「わたしもやってみたい」と言っていて、これまでの活動が報われた気がしました。名古屋でもやれると良いな。あ、戸田恵子さんといえば、先日東京のこまばアゴラ劇場で僕の作・演出作品「海につくまで」って芝居をやったんですが、そこになんと、教文優勝のお祝い持って見に来てくださったんです。なんとというご縁だろうと思います。よくこんな状況になったなーと思います。

でも、まだまだ、こんなもんじゃないと思ってます。おぐりには加入当初「月に一回、本番やれるペースで活動するとすごいよね」って言って「分かりました。仕事とってきますね」って話になって、今は月に2回本番が当たり前になってます。痛し痒しとは正にこの事。仕事が出来すぎます。でも、こんな風に一緒に走り続けてくれるおぐりには心から感謝しているんです。これからも駆け抜けられる限り駆けてみて、後で振り返って「こんなところまで来たんだ」って言ってみたいですね。だから今はとにかく前を向いて駆け続けようと思ってます。

トピックス

「きっかけなんて、わからない」

鈴原 さち (劇団いなほのかほり 代表)



劇団いなほのかほり 12回目公演
「夏の日の、奥田家」
'18年10月27日、28日
青少年交流プラザ ユースクエアにて

私が「劇団いなほのかほり」を立ち上げたのは2009年1月のこと。その時期、私はどん底にいた。

今から遡ること15年ほど前、私は少しのあいだ北海道に住んでいた。その頃も、私はどん底にいた。身体を壊し芝居が出来ない状況にあったからだ。毎日を泣いて過ごし、芝居に関わる事はもちろん観劇にさえ行けなかった。

それでも、どうしても芝居に関わりたいと思い劇団を立ち上げ様としていた矢先、諸事情が重なり名古屋へ帰ってくることに。一度途切れた活動とヤル気は、名古屋へ戻っても早々に戻ることはなかった。芝居の世界に戻りたい気持ちはあったものの、それを行動に移すだけの気力が既に私にはなくなっていた。

そんな中で迎えた2008年冬。そのきっかけは、ふっと、やってきた。私が職を失ったのだ。俗に言うリーマンショック。毎日何もせず、何も出来ない不安と恐怖の日々の中にいたある日、何を思ったのか急に閃いた。「劇団を立ち上げよう」と。なぜ急にと言われれば「時間があったから」。そして思った「今を逃したら、私は芝居の世界には戻れない」。人生、何がき

かけになるか分からない。

そこからの行動は早かった。手探りでチラシを作り、多くの劇団さんに折込をさせてもらい、そして興味を持ってもらえた人たちと立ち上げた、劇団いなほのかほり。

そんな笑い話の様な状況下で立ち上げた劇団が10年以上続けてこられたのも、観に来て下さるお客様のおかげ。都度、助けて下さる周りの人たちのおかげ。何かを続けていけるという事は、誰かに支えられている事なんだと痛感する今日この頃。感謝する事と努力することを忘れずに、続けていきたい演劇活動。今後もしいなほ共々、よろしく願います。そしてこれまでの10年、助けていただいた関係者の皆様、本当にありがとうございました。

【プロフィール】

劇団いなほのかほり代表。

役者・作家・演出家。

また、自劇団のみならず他劇団でも制作を務めるなどスタッフワークにも力を入れている。近年は芝居の幅を広げべく、映像の世界にも積極的に挑戦中の他、得た技術を外へ伝えたいという理由から出張ワークショップも行っている。役者としては、常に客演したい願望がある。

アクテノン・シャワー

資料コーナー企画展

「天然求心カアルファ よこしまブロッコリー
それぞれの20年展」

劇団「天然求心カアルファ」、劇団「よこしまブロッコリー」の演劇活動20年の軌跡を、舞台衣装や舞台写真などを展示してご紹介します。会期中には両劇団員による即興芝居も上演します。(入場無料)

会場：演劇練習館アクテノン 1階資料コーナー

展示期間：令和元年12月17日(火)～令和2年2月2日(日)9:30～19:00

上演日：12月22日・1月12日・26日(日)17:30～19:00

休館日：月曜日(祝日の場合はその翌平日)および12月29日～1月3日

駐車場がありませんので公共交通機関をご利用ください。

第3回Nagoyaチラシデザイン大賞作品募集

優れたチラシのデザイナーを表彰します。独創性に満ちた作品をぜひご応募ください!

応募条件：2019年4月～2020年3月に名古屋市内で開催される舞台公演や美術展などの広報用チラシで、A4判サイズ(両面可)のものとしします。

応募方法：応募用紙と、応募するチラシの現物5枚を郵送してください。

応募料：無料

応募締切：郵送：2020年2月3日(月)消印有効

持参：2020年2月4日(火)17:00まで

表彰：賞状及び副賞(大賞1件50,000円 他)を授与します。

応募先：〒460-0008

名古屋市中区栄三丁目18番1号 ナディアパーク8階

名古屋市文化振興事業団「チラシデザイン大賞」係

TEL(052)249-9385 <https://www.bunka758.or.jp>

詳しくはウェブサイトをご覧ください。



アクテノン利用団体紹介

- ①発足年 ②団員数 ③主な上演作品/会場(上演年) ④連絡先

演劇 シニアミュージカル発起塾



発起塾名古屋は2009年に創立以来、年1回劇場公演を続けています。タイ、エディンバラなど海外での活動も積極的に行い、来年はニューヨーク公演を控えています。名古屋では11月28日(木)は午後2時～4時にアクテノンで無料体験会を開催します(講師：高石光恵、寺原幸、山本知香)。参加条件は50歳～100歳までの演劇初心者の方。レッスンを体験した後にミニミュージカルを創りあげます。演劇未経験の方、大歓迎です!アクテノンでお待ちしております!

- ①1999年 ②250名
③『祝ぎ歌』/熱田文化小劇場('19年)
『花のクッキー売り娘レジェンド』/熱田文化小劇場('18年) 『タイムリミット』/熱田文化小劇場('17年)
④津田 真奈
大阪府大阪市浪速区湊町1-3-1 湊町リバープレイス1階
☎0120-86-2615
HP:<http://hokkijuku.net/>
E-mail:hokkimail2000@hokkijuku.net

アクテノンに一言 名古屋に開校以来、毎回のレッスンでお世話になっております。様々な演劇情報が集まる施設でいつも有意義に利用させて頂いています。今後もよろしくお願い致します。

演劇 劇団 おゆっくす



私達は、5年前同じ養成所で知り合いました。きっかけはメンバーのどんから「学んだことを生かして何かをやりたい」といった話を受けたことが始まりでした。それから具体的な活動の方針を決め、2017年始動したのが「劇団おゆっくす」です。現在は自作ボイスドラマの収録に挑戦しています。スタンスはとにかく楽しむこと!それを見て聞いて楽しんでもらうこと!! 作品をいろいろな方に観ていただけるよう、YouTubeで公開しております。是非「おゆっくす」で検索してみてください!!

- ①2017年 ②5名
③『【ボイスドラマ】女王様の意のままに』/YouTube('18年) 『首を吊るなら?』/YouTube('18年) 『天使と悪魔』/YouTube('18年)
④E-mail:
<https://oyux.amebaownd.com>

アクテノンに一言 劇団を結成した当初から打ち合わせは研修室、稽古は各練習室といつも大変お世話になっております。私たちの活動に無くてはならない場所です!これからもよろしくお願い致します!!

公演のご案内

★アクテノンの利用団体の公演をご案内します。※詳細は劇団へお尋ね下さい。①会場 ②日時 ③料金 ④問合せ先

<p>双身機関 第22回公演 『OKiNaのオ』</p>	<p>① 道徳ハウス ② 12月12日(木) 20:00、13日(金) 20:00、14日(土) 15:00、15日(日) 15:00 ③ 一般3,000円(当日3,500円) 学生1,500円(当日2,000円) ④ ☎090-1625-6425 (ジャコウ) jakounezuminopapa.1984@docomo.ne.jp 能楽「翁」を元にしたオリジナル作品です。ちょっと不思議な世界にご案内します!</p>
<p>有頂天演劇Collaborations 『すれちがいコメディの夜』</p>	<p>① 名古屋市青少年交流プラザ ユースクエア ② 12月26日(木) 19:00、27日(金) 19:00、28日(土) 11:00 16:00 ③ 予約1,000円 台本付き予約1,500円 当日1,100円(公演協力金) ④ utyotenengekicollaborations@gmail.com CAST[有頂天劇団員]堀部祐基、加藤綺子、北折琢人、白木祐汰、米津宇卓、鈴木佳貴、みつば、サワダユウキ[ゲスト]河原伶美、伊藤すみれ、まーぼ春雨、ダニエル小柳、清原隆一</p>
<p>なんだかんだクレイジー #3 『オンバサラダルマキリソワカ』</p>	<p>① ナビロフト ② 12月28日(土) 15:00 19:00、29日(日) 15:00 19:00、30日(月) 11:00 15:00 ③ 一般2,000円(当日2,500円) 学生1,500円(当日2,500円) ④ ☎050-5329-0293 なんだかんだクレイジーの五周年記念公演!過去最大規模でお送りいたします!</p>
<p>劇団 テアトロ☆マジコ 『Zipang ~ジパング~』</p>	<p>① 名古屋市千種文化小劇場(ちくさ座) ② 2020年1月31日(金) 18:30、2月1日(土) 14:00 18:30、2日(日) 13:00 17:30 ③ 一般3,000円 中高生以下2,000円 ④ ☎090-8130-7823 magicco2012@yahoo.co.jp 隠された伝説を抱いたまま廃墟と化した東洋の島国。海賊たちが蘇る。2020年改訂版!</p>



編集発行/令和元年11月25日(年4回)

名古屋市文化振興事業団 [演劇練習館 [アクテノン]]

〒453-0841 名古屋市中村区稲葉地町1-47

TEL 052-413-6631 FAX 052-413-6632

※この印刷物は、古紙パルプを含む再生紙を使用しています。



施設からの
情報を
ご覧いただけ
ます!



「友の会」会員募集中!
<http://www.bunka758.or.jp/>